システム全体(Cドライブ)のバックアップと復元

作成者:山崎 孝

パソコンはいつ不調になるかわからない。万一に備えて Windows7 に標準装備されている バックアップ機能を利用して、OS (windows7) が入っているシステム全体 (C ドライブ) のイメージバックアップを作成することで、パソコンを好調時の状態にいつでも戻すこと ができるように準備しとくことが肝要である。下記にその方法を述べる

1 システムイメージの作成

1-1 スタートをクリックしてからコントロールパネルを選択してクリックして開く



1-2 「バックアップの作成」をクリックする。



1-3 左側にある「システムイメージの作成」をクリックする。



- 1-4 システムイメージの保存先を聞いてくるので保存先を指定する。
 - 1-4-1 HDD の場合:

容量が大きいので、ハードディスクにチェックを入れ、保存先は外付けの HDD を 選択するのがよい。外付け HDD が無い場合は、保存先は内臓のドライブでも良いが、 HDD が故障すると使用できなくなる恐れがある。

推奨) USB タイプの外付け HDD を1台準備することをお勧めします。2.5インチの ポターブルタイプの500GB クラスで約5000円程度です。注

	(二) 📫 システム イメージの作成
	パックアップをどこに保存しますか?
	システム イメージは、Windows の実行に必要なドライブのコピーです。追加のドライブを含めることもできます。システム イメージは、 ハード ドライブまたはコンピューターが動作を停止した場合に、 コンピューターの復元に使用できます。 ただ し、 復元する項目を個別に選択することはできません。 <u>システム イメージからコンピューターを復元する方法</u>
ここにチェッ クを入れる	 ● 八一ド ディスク上(出) ↓ ボリューム (E:) 264.45 GB 空き
	◎ 1 つ以上の DVD 上(D)
	ここをクリッ
	クする 次へ(N) キャンセル

1-4-2 DVD の場合:

DVD でも出来ます。 DVD にチェックを入れます。システムイメージの容量(数+GB)が大きいため、かなりの枚数が必要となります。パソコンによって、容量が違います。

[
	パックアップをどこに保存しますか?
	システム イメージは、Windows の実行に必要なドライブのコピーです。追加のドライブを含めることもできます。システム イメージは、ハード ドライブまたはコンピューターが動作を停止した場合に、コンピューターの復元に使用できます。ただ し、復元する項目を個別に選択することはできません。 <u>システム イメージからコンピューターを復元する方法</u>
	◎ ハード ディスク上(<u>H</u>)
ここにチェッ	ポリューム (L:) 42.21 GB 空き
クを入れる	● 1 21X 上の DVD 上(D) ● DVD RW ドライブ (W:)
	ここをクリッ クする
	レイ ・ 次へ(N) キャンセル

1-5 バックアップ先の確認を行います。間違いなければ、「バックアップの開始」をクリックしてシステムのバックアップを実行する。

この例だと、52GBの容量が必要なので、DVDで行う場合は12枚のDVDが必要となります。(52GB÷4.7GB/枚=11.06枚)

🂽 🏩 システム イメージの作成	ζ
バックアップの設定を確認します	
バックアップの場所:	
DVD RW ドライブ (W:)	
バックアップには 52 GB のディスク領域が必要です。	
次のドライブのバックアップが作成されます:	
System Reserved (システム)	
🌉 Windows 7 HP 64Bit (C:) (システム)	
「「 バックアップの開始(<u>S</u>) キャンセル	

2 いざという時の「システム修復デスク」の作成

Windows7 の OS が壊れると、復元作業が出来ない。その場合に備えて「システムの修復 デスク」を作成しときたい。システム修復デスクがあれば復元作業が出来る。

2-1 スタート→コントロールパネル→バックアップをクリックして、バックアップと復 元の画面から左側のシステム修復デスクの作成をクリックする。



2-2 作成画面が出るので、CD-ROM に未使用の DVD-R を入れて、そのドライブを選 択して、「デスクの作成」をクリックすると修復デスクの作成が開始される。

🔓 システム修復ディスク	7の作成
CD/DVD ドライブを選	択し、空のディスクをドライブに挿入してください
システム修復ディスクな 含まれている Windows 復させたり、システム	を使用してコンピューターをブートできます。システム修復ディスクに s システム回復ツールを使用すると、重大なエラーから Windows を回 イメージからコンピューターを復元することができます。
ドライブ(<u>D</u>):	● DVD RW ドライブ (W:) ・
	ディスクの作成(<u>R</u>) キャンセル

2-3 挿入した DVD-R メディアに修復デスクの内容が書き込まれる。作業時間はドライ ブの性能によって違うが数分程度で完了する。完了したら「閉じる」ボタンをク リックする。

🔓 システム修復ディスク0	D作成	
CD/DVD ドライブを選択 システム修復ディスクを 含まれている Windows 復させたり、システム イ	し、空のディスクをドライブに挿入してください 使用してコンピューターをブートできます。システム システム回復ツールを使用すると、重大なエラーから メージからコンピューターを復元することができま	ム修復ディスクに ら Windows を回 す。
ドライブ(<u>D</u>):	● DVD RW ドライブ (W:) ・	
ディスクの作成中	ディスクの作成(<u>R</u>)	キャンセル

このシステム修復デスクを使えば、Windows 7 が起動できなくても、復元作業が可能となる。

3 システム全体(Cドライブ)を復元する

3-1 Windows7 が起動する場合:

スタート→コントロールパネル→バックアップの作成を選び、開く画面で「システム 設定またはコンピューターの回復」をクリックする。

				×
	ュリティ 🕨 バックアッフ	プと復元	▼ 4 コントロール パネルの検索	9
コントロール パネル ホーム	バックアップ			^
😽 スケジュールを無効にする	場所:	ボリューム (G:) 切断	受今すぐバックアップ(<u>B</u>)	
 システム イメージの作成 システム ドレージの作成 		バックアップ サイズ: 利		
▼ ンステム修復ティスクの//F/0,	•••	ਸ ��領域の管理(M)		
	次回:	2011/10/30 19:00		
	前回:	2011/10/27 11:31		
	内容:	ライブラリおよびすべて のユーザーの個人用フォ ルダーのファイル およひ	3	
		システム イメージ		
	スケジュール:	毎週日曜日の 19:00		
_		→設定の変更(C)		=
	復元			
ここをクリックする	このバックアッフ 場所からファイル	^ℓ の場所には、バックアップ √を復元することができます	は 1 つも保存されていません。他の 。	
		元元として別のバックアップ	^プ を選択(<u>N</u>)	
アクション センター ・ ・ ・ ・ ・ い の い の い の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	システム設定また	Eはコンピューターの回復(Y	C	-

3-2 続く画面で「高度な回復方法」をクリックする。

3-3 「以前に作成したシステムイメージを使用してコンピューターを回復する」をクリッ クする

3-4 「ファイルをバックアップしますか」と聞いてくるので、基本的には「今すぐバック アップ」をクリックしてバックアップを取っておく。 必要がない場合は「スキップ」 をクリックする。

ここではファイルのバックアップはすでに取ってあると仮定して、「スキップ」をクリ ックする。

注)写真、動画、作成文書等の重要データファイルのバックアップ方法については別途説 明します。 3-5 最後に再起動ボタンをクリックすれば、システムが再起動され、バックアップしたシ ステムイメージが復元される。データのバックアップを取っていないとデータファイ ルが消えてしまうことがある。

 □ ×
コンピューターを再起動して回復処理を続行してください コンピューターをシステム バックアップから復元するときに複数のバックアップが存在する場合は、 バック アップの日付を選択できます。
データをバックアップしないことを選択しました。ドキュメント、画像、音楽ファイルなどのユ ▲ ーザー ファイルが失われることがあります。
再起動をクリックする。 再起動 キャンセル

- 3-6 パソコンの再起動後に「システムの回復オプション」が開くので、「次へ」をクリック する。
- 3-7 利用できる最新のイメージファイルが自動的に選択される。間違いが無いことを確認したら、「次へ」をクリックして画面の指示に従って復元作業が始まる。完了をクリックすると復元作業が始まる。

以上